【特別対談】話題のICL・IPCLから進化したレーシックまで

選択肢が広がる「視力矯正治療」

「見える」を選ぶ時代へ

医療法人 樹尚会　**佐藤眼科 熊本**

眼鏡やコンタクトから解放された生活に憧れつつ、「本当に安全？」「自分にもできるの？」と不安や疑問を抱える人も少なくありません。今回は、熊本駅前の佐藤眼科 熊本の院長・佐藤智樹先生に、視力矯正の最前線と“自分に合った選び方”を伺いました。ラジオで共演するアナウンサーの松村さんが、リアルな視点で疑問を投げかけます。目の健康と快適な視界を手に入れるヒントが詰まった対談です。

佐藤眼科 熊本
佐藤 智樹 院長
【プロフィール】熊本大学医学部卒。熊本大学病院、熊本市民病院、出田眼科病院で眼科の基礎を学び、現在まで1万件以上の手術実績あり。白内障・緑内障・屈折矯正が専門

アナウンサー
松村奈央さん
【プロフィール】熊本を拠点に活躍するアナウンサー・ラジオパーソナリティ。テレビ番組、ラジオなど多数出演。佐藤院長とはFMKラジオ「メガヨロコブラジオ」で共演中

佐藤院長と松村さんがパーソナリティをつとめる「メガヨロコブラジオ」の番組HPはコチラ⇒

複数の治療法から、その人に合った最適な治療を提案する「佐藤眼科 熊本」

—松村　視力矯正には、レーシック以外にも、ICLやIPCLという手術があるとか？

—佐藤　はい。レーシックは、角膜の表面を精密なレーザーで削って形を整える術式ですが、ICLやIPCLは「眼内コンタクトレンズ」と呼ばれる手術で、角膜を削らずに視力を矯正する方法です。「目の表面を加工する」のか「目の中にレンズを入れる」のかという違いですね。どちらもメリット・デメリットがあるため、一人ひとりの目の状態や生活スタイルに合わせて選択されると良いと思います。

—松村　ズバリ、どちらが良いのでしょうか？

—佐藤　よく聞かれる質問なんですが、どちらの手術も安全性が高く、手術の結果も良好なんです。左表のような違いがあるので、ご自分の生活スタイルや目の状態、あとは費用等も含めてどちらの手術が向いているか検討されると良いと思います。

—松村　向き不向きがあるんですね？

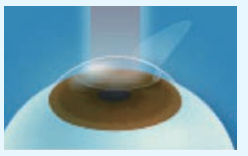
—佐藤　そうなんです。どちらがよい手術というよりは、「どちらがご自身の目に合っているか？」という視点で選ばれると良いかと思います。

—松村　手術は痛いんですか？

—佐藤　どちらの手術も痛みはほとんどなく、両眼で15分程度の手術です。緊張が強い方は笑気ガスといって手術中にリラックスできるガスを吸いながら手術をすると緊張が和らぎますよ。当院では、事前に精密な検査を行い、複数の選択肢の中から患者様の目に最も合った方法をご提案しています。近視矯正手術は正常な目に手術をするので、〝安全に、長く快適に見える〟ことがもっとも重要です。まずは気軽にご相談ください。

レーザーで角膜表面を整え視力を矯正する手術

レーシック



【20代～ 40代の人が適応】
【レーシック手術方法】
①点眼麻酔をする
②角膜フラップを作成
③フラップをめくり、エキシマレーザーを照射
④フラップを元に戻す（自然に密着し、縫合は不要）
⑤保護用の点眼薬を使用し終了
※手術は 両眼で15分程度 で完了し、翌日には視力が回復します

【向いている人】
☑費用を抑えて裸眼になりたい
☑近視・乱視が軽～中程度

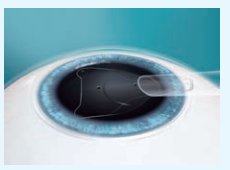
【向かない人】
☑格闘技などで目を打つ可能性が高い
☑ドライアイが強い／角膜が薄い

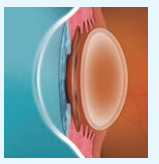
メリット
- 乱視矯正が高精度
- ハロー・グレアが少ない
- 眼内にレンズを残さず真の裸眼
- 費用がICLより安い

デメリット
- 夜間に光が気になることがある
- ドライアイが出ることがある
- 強い近視だった場合は数年後に近視が戻ることがある
- 打撲で目の表面がはがれることがある

目の中に眼内コンタクトレンズを埋め込む手術

ICL・IPCL





【20代～ 40代の人が適応】
【ICL・IPCLの手術方法】
①散瞳剤点眼で瞳孔を開き、点眼麻酔をし、黒目と白目の境目に数ミリの創口を作成
②創口からICLまたはIPCLを挿入し、虹彩と水晶体の間に固定する
③切開創は糸で縫合することなく、閉じる
※手術は両眼で15分程度で完了し、レンズは手入れ等はなしに半永久的に眼内で安定します

【向いている人】
☑角膜を削りたくない
☑特に強度の近視（－6D以上）

【向かない人】
☑レンズを入れる隙間が狭い

メリット
- 強度近視で対応可
- ドライアイになりにくい
- レンズを外せば元に戻せる安心感
- レーシックより打撲に強い

デメリット
- 夜間に光が気になることがある
- TASS（非感染性の炎症）・白内障・緑内障などまれな合併症
- まれにサイズ不一致等で入替の可能性あり
- 費用がレーシックより高い

※「詳しくはHPをご覧下さい」

「40歳を過ぎたら眼科ドックを受けられてみては？」早期発見・早期治療が大切！

—松村　レーシックやICL・IPCL、どちらも優れた治療法である一方、手術となると「注意しておくべき点」も気になります。リスクや術後の気を付ける点などはあるのでしょうか？

—佐藤　とても大切なポイントですね。レーシックの場合、角膜を削って視力を矯正するため、術後に強い衝撃が加わると角膜のフラップ部分に影響が出る可能性があります。また、ドライアイが悪化することがあるため、もともと乾燥傾向のある方には慎重な判断が必要です。加えて、強度の近視の方では、時間の経過とともに視力が戻ってしまう「近視の戻り」が出ることもあります。

一方、まれですが、ICL・IPCLはレンズのサイズが合わなかったり、乱視の軸がずれてきたりする場合は、レンズの交換が必要になります。また、レンズを眼の中に入れるので、TASSといって非感染性の炎症が起きたり、白内障や緑内障のリスクなどが起きることもまれにあります。患者さんによっては、レンズを入れる隙間が狭い方は適応外になることもあります。

—松村　それぞれに特徴や注意点があるからこそ、自分の目のことをよく知っておくと安心ですね。

—佐藤　そうですね。視力矯正を検討するうえで大切なのは、「まずは手術のメリットとデメリット、まれですが合併症についてきちんと理解して手術を受けること」ですね。

「眼の健康」気にしていますか？

—松村　眼科ドックもされていると伺いましたが。

—佐藤　はい。通常の人間ドックでは行わない精密な眼科検診で、日本人の5%がかかるとされる緑内障をはじめ、さまざまな病気の有無をチェックできるので、早期発見早期治療を行うことができます。40代以降の方や、3年以上眼科を受診していない方は検討されるとよいでしょう。事前予約制なので、まずはお電話を。

眼科ドックはこのような人にオススメです
- □40才を過ぎた
- □3年以上、眼科を受診していない
- □緑内障の血縁者がいる
- □強度の近視がある
- □パソコンやスマホで目を酷使している

「眼科ドック」を受けてみませんか？

国家資格を有する視能訓練士と看護師が行い、専門医が的確に診断。一般眼科外来と多くの専門外来をそなえ、ドック受診後の治療もスムーズに！

◎検査時間／約90分
◎料金／2万2000円（税込）
◎申込み／Web又は電話
※眼科ドックは【予約制】です

【眼科ドックの流れ】
①問診　②視力眼圧検査
③調節機能検査　④両眼視機能検査
⑤視野検査　⑥ドライアイ検査
⑦前眼部解析検査　⑧三次元眼底解析検査　⑨後日検査報告書を郵送

レーシック（自由診療）	片眼19万8000円（税込）　両眼39万6000円（税込）
ICL IPCL（自由診療）	（乱視矯正なし）片眼27万5000円（税込）　両眼55万円（税込）
	（乱視矯正あり）片眼33万円（税込）　両眼66万円（税込）

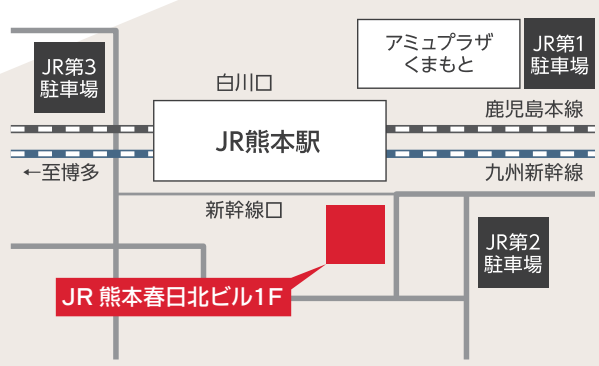
※支払いは、医療ローン（最大60回払いまで）も利用可能。詳細は問い合わせください。
※術後１年間の診察は無料。術後１年以降の定期検診費用は１回の受診につき2200円（税込）
※レーシックは追加照射が必要になった場合は初回手術から３年間は無料。
※ICL・IPCLは度数ズレや視力低下が起きた場合は、術後３年間は無料でICL入替保証あり。

◎ 診療時間［**完全予約制**］

	月	火	水	木	金	土
午前 9:00～12:00	○	○	○	○	○	○
午後 2:30 ～ 5:00	○	○	※	○	○	—

休診日／日曜・祝日　※水曜午後は手術のみ

電話予約
096-326-2500
（受付時間／月～金 9:00-17:00、土 9:00-12:00）

Web 予約および
インスタグラムはこちら
Web 予約　インスタグラム

医療法人　樹尚会
佐藤眼科 熊本
SATO eye clinic KUMAMOTO
〒860-0047　熊本市西区春日3-24-1 JR熊本春日北ビル1階